

新潟県長岡市における東日本大震災避難所史料の収集・保存・整理と研究

長岡市立中央図書館文書資料室 主任 田中 洋史

はじめに～新潟県長岡市 人口：約 28 万人、世帯数：約 10 万 3 千世帯～

○本日の報告 長岡市立中央図書館文書資料室（以下、文書資料室）の災害アーカイブ構築の取り組みを紹介

・避難所史料を図版編・解説編で紹介した図録刊行の前後

矢田俊文・長岡市立中央図書館文書資料室編『震災避難所の史料 新潟県中越地震・東日本大震災』（新潟大学災害・復興科学研究所危機管理・災害復興分野、2013 年）

・経験の伝承 阪神淡路大震災（1995 年）→新潟県中越大震災（2004 年）→東日本大震災（2011 年）

※『阪神淡路大震災にかかわる史料保存活動の記録』（全史料協近畿分委会、1997 年）

※稲葉洋子『阪神・淡路大震災と図書館活動―神戸大学「震災文庫」の挑戦―』（人と情報を結ぶ NEWS、2005 年）

1 長岡市立中央図書館文書資料室の災害対応

(1) 長岡市立中央図書館文書資料室 平成 10 年 4 月 長岡市史編さん室の業務を継承・開設

(2) 職員数 室長、主任（歴史的文書（郷土史）専門職員）、嘱託員 2、臨時職員 3（うち緊急雇用 2）

(3) 主な業務の内容 古文書等・歴史公文書の整理・保存・公開、長岡市史双書の刊行

普及活動（古文書解説講座、長岡市史双書を読む会、歴史資料保存講座など）

(4) 新潟県中越大震災（平成 16 年 10 月 23 日）への対応

「歴史的資料の救済」と「震災関連資料の収集」を二本柱に

※長岡市史双書 No.48『新潟県中越大震災と史料保存（1）長岡市立中央図書館文書資料室の試み』

※長岡市史双書 No.49『新潟県中越大震災と史料保存（2）被災資料が地域を語る① 刈羽郡桐沢村青柳家文書』

(5) 東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）への対応

被災地ではない地域にできることは何か→長岡市内に東日本大震災の避難所開設→避難所史料の収集・保存

※田中洋史「東日本大震災時の避難所における資料保全の取り組み―長岡市の場合―」（『災害・復興と資料』第 1 号 新潟大学災害・復興科学研究所危機管理・災害復興分野、2012 年） ほか

資料 1 文書資料室の災害アーカイブ（平成 25 年 1 月現在）

分類 番号	資料群名	概要	主な収集方法	点数
01	長岡市立中央図書館文書資料室収集資料	行事のチラシ・ポスター等、個人・企業より寄贈され他に分類できないもの	随時収集・受け入れ	322
02	長岡市内避難所資料	避難所で掲示・配布・作成されたもの	中央図書館は閉鎖時に依頼、呼びかけ文送付・訪問調査	395
03	長岡市役所資料	市役所各課・施設から提供された災害対応業務に関するもの	歴史公文書の収集等で呼びかけ	2, 278
04	長岡市内小・中・高等学校・特別支援学校資料	市内の学校から提供された写真・文書・刊行物等	事前アンケート・訪問調査（平成 18・19 年度）	4, 012
05	新聞資料	新聞（原紙）	購入、市内図書館より移管	619
06	行政刊行資料	自治体の刊行物・チラシ・ポスター等	随時収集・受け入れ	整理中
07	図書資料	図書・雑誌・広報誌・体験談・報告集等	随時収集・受け入れ、「住民生活に光をそそぐ交付金」（平成 22 年度）で購入	429
08	地図資料	災害に関する地図	随時収集・受け入れ	7
09	写真資料	被害状況・復旧作業等写真（個人撮影）	随時収集・受け入れ	整理中
10	長岡市内コミュニティセンター資料	市内のコミュニティセンターから提供された写真・文書・刊行物等	事前アンケート・訪問調査（平成 21 年度）	1, 589
11	長岡市内東日本大震災避難所資料	避難所で掲示・配布・作成されたもの、避難所写真	避難所開設・閉鎖時に訪問調査（平成 23 年度）	整理中
合 計				9, 651

※災害に関する長岡市の非現用文書は歴史公文書として収集・保存しているため除く。

2 図録『震災避難所の史料 新潟県中越地震・東日本大震災』（2013年3月）

（1）刊行の経緯・趣旨

- ・共編 矢田俊文氏（新潟大学人文学部教授、新潟大学災害・復興科学研究所教授）
- ・発行 新潟大学災害・復興科学研究所教授危機管理・災害復興分野
- ・刊行趣旨 長岡市の災害対応の経験・教訓を避難所史料から発信

※参考文献 人と防災未来センター編『阪神・淡路大震災における住まいの再建—論説と資料—』（2012年）

（2）内容（目次）

- ・図版編 新潟県中越地震避難所史料、図書館報・長岡市報・災対本部資料、東日本大震災避難所史料

※長岡市立中央図書館避難所史料の分類

- ①中央図書館職員が手書きで作成した表示・掲示物
- ②中央図書館職員がパソコンで作成した表示・掲示物
- ③中央図書館職員が加工して作成した掲示物
- ④市役所各課等が作成した掲示物

- ・解説編 震災避難所史料の収集と保存（田中洋史）、東日本大震災と長岡市の避難所（石井順子）
震災避難所と史料（矢田俊文）

（3）評価・反響

- ・吉川圭太氏による書評 『新潟史学』第70号（2013年）
- ・新聞 「新潟日報」2013年4月20日付朝刊、「日本経済新聞」2013年5月2日付など

3 東日本大震災避難所史料の収集・保存

（1）長岡市内に開設された東日本大震災避難者避難所

※長岡市北部体育館南相馬市避難者避難所・長岡ロングライフセンター福祉避難所を整理中

資料2 長岡市の東日本大震災による避難者の受入状況（平成24年12月6日現在） 注）表中の日付はすべて平成23年

東日本大震災避難者避難所（臨時避難所）区分	開設日	最大受入数（月/日）		現在の受入数
一般避難所 新産体育館など5施設	3/16	330人	3/22	6/17までにすべて閉鎖
南相馬市避難者避難所 南部体育館・北部体育館	3/19	539人	3/20	6/17までにすべて閉鎖
福祉避難所 長岡ロングライフセンターなど7施設	3/19	141人	3/27	9/9までにすべて閉鎖
介護保険施設 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など9施設	3/22	133人	3/24	39人
二次避難所 ホテル・旅館等	6/17	130人	6/17	9/9までにすべて閉鎖

資料3 東日本大震災避難所史料の収集状況

一般避難所	箱	封筒	写真
高齢者センターみやうち	4	2	49
皆楽荘	2	1	49
夕映荘	1	0	0
志保の里荘	1	0	0
新産体育館	6	1	81
南相馬市避難者避難所	箱	封筒	写真
南部体育館	11	4	102
北部体育館	12	1	64
福祉避難所	箱	封筒	写真
長岡ロングライフセンター	7	2	48

注）総計は、段ボール箱44箱分、封筒11包分、写真393枚である。

資料4 東日本大震災避難所史料の収集経過

月	日	曜	避難所	収集者 (数字は人数)	箱			点数	備考
					箱	封筒	写真		
4	5	火	北部体育館	文書1	1			664	
4	11	月	南部体育館	文書2		1			
4	13	水	長岡ロングライフセンター	文書2		1		9	
4	25	月	北部体育館	文書1	1			1,347	
4	25	月	南部体育館	文書2	1				
4	26	火	高齢者センターみやうち	文書1 栃美1		1			
5	1	日	南部体育館	文書1		1			
5	5	木	夕映荘	文書1	1				閉鎖後(4/30閉鎖)
5	10	火	北部体育館	文書2	2			927	
6	3	金	北部体育館	文書2		1	64	11	写真撮影
6	5	日	北部体育館	文書1	8			1,272	避難所閉鎖、写真撮影
6	6	月	高齢者センターみやうち	文書1 栃美1	1		49		
6	6	月	長岡ロングライフセンター	文書1		1		4	
6	7	火	志保の里荘	文書1 中防1	1				
6	7	火	新産体育館	文書1 中防1	1		76		写真撮影
6	7	火	南部体育館	文書1 中防1	1	1	102		写真撮影
6	7	火	長岡ロングライフセンター	文書1 中防1	1		44	707	写真撮影
6	7	火	皆楽荘	文書1 中防1			49		聞き取り・写真撮影
6	16	木	皆楽荘	文書1 栃支1	2				閉鎖前日
6	17	金	高齢者センターみやうち	文書2		1			避難所閉鎖
6	17	金	新産体育館	文書2	5	1	5		避難所閉鎖、写真撮影
6	17	金	南部体育館	文書2		1			避難所閉鎖
6	17	金	長岡ロングライフセンター	文書2	6		4	586	避難所閉鎖
6	18	土	高齢者センターみやうち	文書2	3				閉鎖翌日(後片付け)
6	18	土	南部体育館	文書2	8				閉鎖翌日(後片付け)
6	22	水	南部体育館	文書2	1				閉鎖後に提供
6	25	土	皆楽荘	文書1		1			閉鎖後に提供
合計					44	11	393	5,527	

注) 日付はすべて平成23年。収集者の項の正式名称は、文書：文書資料室、中防：社団法人 中越防災安全推進機構、栃支：栃尾支所地域振興課、栃美：栃尾美術館である。点数は整理済みの資料群のみ記入した。

(2) 長岡ロングライフセンター福祉避難所

- ・福祉避難所 介護が必要な人・妊婦・乳児とその家族など、災害弱者のサポートに特化した避難所
7か所開設 高齢者施設(入浴施設・バリアフリー化)、指定管理者制度導入施設

- ・長岡ロングライフセンター福祉避難所(所在地：長岡市大字日越185-2、昭和55年10月開館)

開設期間：平成23年3月19日～同年6月17日

避難者数：3月30日＝42人、4月30日＝39人、5月31日＝17人、6月15日＝8人

- ・長岡ロングライフセンター福祉避難所史料の収集作業(資料3・4)

4月13日(9点)、6月6日(4点)、6月7日(707点)、6月17日(586点)の4回実施(合計1,306点)

(3) 長岡ロングライフセンター避難所の配置と避難所史料

- ・避難所全体と本部の平面図を聞き取りと撮影写真から作成(資料5・6)

→オーラルヒストリーの重要性 例：避難所職員(中央図書館職員)の図書・新聞閲覧コーナー設置

①避難所本部の事務文書 避難所日誌、掲示物、引き継ぎメモ、マニュアル、写真など

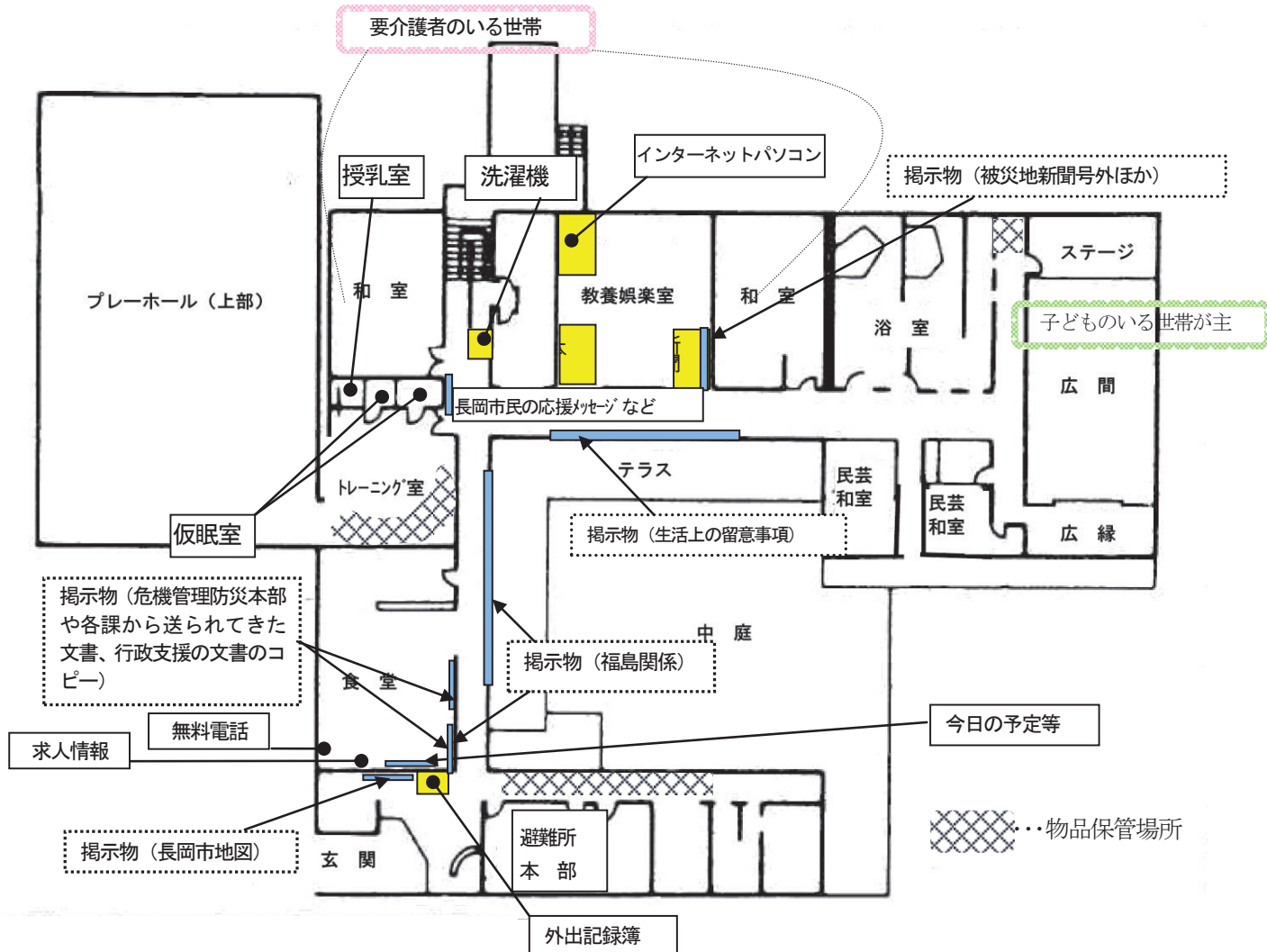
②掲示物・配布物 ボランティア・事業所・地域の支援 例：関原地区商工会(観桜会)

③被災地からの情報 新聞・新聞号外

④避難者が避難所に残した史料

(5) 福祉避難所としての特徴と避難所史料～介護と出産への対応

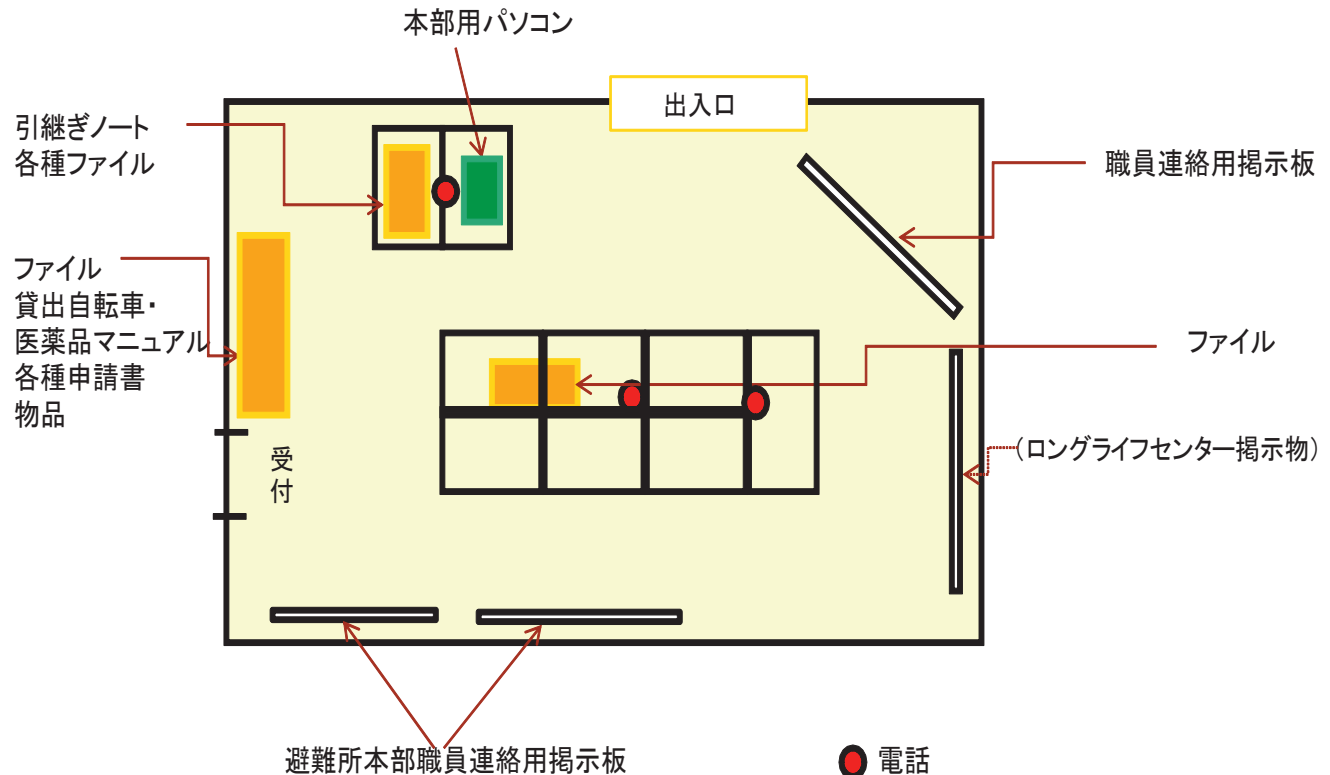
長岡ロングライフセンター職員の協力(高齢者対応は通常業務)



〈どのように福祉避難所として利用したか〉

- ・ 掲示物（点線枠囲み）は、危機管理防災本部など関係各課から送られてきた文書をコピーして貼った。
- ・ 居住スペースに続く廊下には、福島から送られてくる FAX 文書を拡大コピーしたもの、生活上の留意点などを掲示した。文書によっては、以前の情報も見られるようにとファイルに綴じていき、それをホワイトボードにひもで引っ掛け、工夫をした。
- ・ 被災地の新聞は、バックナンバーが見られるようにしていた（机下の段ボール箱）
- ・ 本は、図書館が寄付を募ったものを設置した。⇒退去する時に持ち帰った避難者も
- ・ 食堂・娯楽室は共有スペースとして利用し、無料電話や新聞・本、インターネットパソコンを設置した。
- ・ 広間・和室に何世帯かが一緒に生活をしていた。特に広間は、幼児から高齢者までが一緒に空間にいた。畳の部屋で喜ばれた。
- ・ 民芸和室を体調の悪い方（風邪・腹痛等）用の部屋としていた（避難者が減ってきてから）。
- ・ 仮眠室は、避難者（夜勤勤務）の仮眠用として利用。
- ・ 長岡市民からの絵手紙のメッセージや花を生けたコーナーがあった。
- ・ プレーホールの1階は、布団など大きな物資を置いていたが、子どもたちの遊び場にもなっていた。

資料6 長岡ロングライフセンター福祉避難所本部平面図



〈避難所本部（市避難所職員事務室）について〉※避難所勤務職員より聞き取り

- ・長岡ロングライフセンター事務室⇒そのまま避難所本部に
- ・机の区別はなく、そのままあるものを使わせてもらった。
- ・避難所開設当初は長岡ロングライフセンターの備品も借りた。
⇒その後市からの備品・消耗品に移行。一部はそのまま使った。
- ・掲示板やパソコン・ファイル等も、配置できる範囲で使いやすいように。
- ・来所者名簿、自転車借用簿など、対応に必要な事務文書類は、受付付近に常置。
- ・長岡ロングライフセンターの職員(センター長含め4人+掃除2人シフト制)も避難所開設当初より一緒に運営業務に
⇒日中(通常勤務時間内)、主に施設管理全般、避難者の話し相手や要望一時預かり、受付など補助的業務に従事。
- ・市避難所勤務職員は2人体制（昼1、夜1）。
- ・5月中旬までボランティアセンターより宿直ボランティアが来てくれていた(夜間2名体制)。
- ・避難所職員の業務は、危機管理防災本部や関係各課との日常のやりとり（報告、食料発注、物品要望、そのほか報告）、
掲示物管理、避難者への連絡や調整、避難者ケア（話し相手になるなど）、来所者受付、緊急対応など。
- ・本部から届くものがニーズに合わない場合は、乳幼児製品カタログからの発注、介護用品の独自調達など、きめ細やかな対応をしていた。

4 ボランティアと協働で行う避難所史料整理

(1) 文書資料室とボランティアによる東日本大震災避難所史料の活動実績 (15 回)

年度	月	日	活動団体	整理史料群 (収集日)	参加人数
23	12	10	長岡市資料整理ボランティア	新産体育館避難所史料 (6/17 収集)	13
24	7	7	新潟歴史資料救済ネットワーク	北部体育館避難所史料 (4/5・4/25・5/10 収集)	29
	8	28	長岡市資料整理ボランティア	北部体育館避難所史料 (4/5 収集)	12
	9	15	長岡市資料整理ボランティア	北部体育館避難所史料 (4/5 収集)	8
	9	25	長岡市資料整理ボランティア	北部体育館避難所史料 (5/10 収集)	8
	10	17	長岡市資料整理ボランティア	北部体育館避難所史料 (5/10 収集)	12
	10	26	長岡市資料整理ボランティア	北部体育館避難所史料 (6/5 収集)	9
	11	7	長岡市資料整理ボランティア	北部体育館避難所史料 (6/5 収集)	8
	11	19	長岡市資料整理ボランティア	北部体育館避難所史料 (6/5 収集)	8
25	7	14	新潟歴史資料救済ネットワーク	長岡ロングライフセンター避難所史料 (6/17 収集)	21
	7	29	長岡市資料整理ボランティア	長岡ロングライフセンター避難所史料 (6/17 収集)	7
	9	20	長岡市資料整理ボランティア	長岡ロングライフセンター避難所史料 (6/17 収集)	8
	10	19	長岡市資料整理ボランティア	長岡ロングライフセンター避難所史料 (6/7 収集)	6
	11	1	長岡市資料整理ボランティア	長岡ロングライフセンター避難所史料 (6/7 収集)	8
	11	27	長岡市資料整理ボランティア	長岡ロングライフセンター避難所史料 (6/7 収集)	8
のべ参加人数 合計					165 人

(2) 新潟歴史資料救済ネットワーク・長岡市資料整理ボランティアとの協働

- ・ 目録の構成 (資料番号、表題、内容、作成者・発行者、宛先、作成年月日、用紙、形態、数量、備考)
- ・ 活動の中で気を付けていること
 - ① 「整理作業のしおり」を通した共通認識の構築
 - ② 原秩序と原状記録 備考欄：FAX (時間情報)、セロテープ痕・マグネット痕 (用途)
 - ③ 整理こそ活用の第一歩 例：鯉のぼりボランティア関係史料の検出
 - ④ 「楽しく学ぶ」ボランティア活動をめざして

5 避難所史料の研究と課題～避難所に関わった人々の記録から災害像を描く～

(1) どのように整理・保存していくのか～避難所「史料論」「文書論」の検討～

- ・ 各史料群 (収集日・避難所ごと) の特徴把握
- ・ 避難所史料の出所情報の収集～聞き取りの活用 (オーラルヒストリー) ～

(2) どのように活用していくのか～東日本大震災・原発事故と歴史研究・歴史資料～

- ・ 将来の市史編さんに備える所蔵資料の構築 未曾有の災害に「長岡」はどのように向きあったか
例：避難所史料による来所者の分析 (資料 7)
- ・ 震災像の形成 様々な学問分野の研究のため、被災者や被災者を支援した人々の体験・記憶と相互補完

(3) 長岡市 (行政) としての東日本大震災への支援・対応に位置付ける

資料 7 長岡ロングライフセンター福祉避難所来所者数 (稿) (避難所日誌等から作成)

日付	曜日	ボランティア	市職員	報道	県・国職員	視察	物資搬入	その他
3/19	土							
3/20	日	1	2					5
3/21	月	3		5	4			2
3/22	火	4	8	1			6	3
3/23	水	3	3	1			3	3
3/24	木		4				1	2
3/25	金	3	3		1		1	2

おわりに～来年度は新潟県中越大震災から 10 年～

東日本大震災の被災地図書館にお伝えしたいこと～一次史料・連携の重要性～